

## 2003年7月の大気大循環と世界の天候

### 大気大循環

北半球500 hPa 高度では、ヨーロッパ北部からシベリアにかけて波列状の偏差が卓越し、ヨーロッパ北部とシベリア東部にはブロッキング高気圧、西シベリア付近には明瞭なトラフがみられた。黒海付近から東へ日本付近に至る北緯40度帯では、広く負偏差が分布した。太平洋東部から大西洋にかけては東西に波列状の偏差が分布し、北米では西部で正偏差、東部で負偏差となった。またアフリカ北部にみられる高気圧は平年より強く、地中海付近は正偏差に覆われた。

対流活動では、インド半島、ベンガル湾南部、西部太平洋赤道付近で平年より活発、ベンガル湾北部からフィリピンの北東海上にかけては平年より不活発だった。インド洋西部は前月に引き続き平年よりかなり活発、スマトラ島の南西海上は前月に引き続き平年より不活発となった。

200 hPa 速度ポテンシャルの分布図では、ベンガル湾に位置する大規模な発散域の中心は平年より10度程度西側に寄っていた。またフィリピン付近に位置する発散域の中心は平年より5度程度南に寄っていた。

SOI (南方振動指数) は+0.2となり、2002年2月以来の正の値となった。

### 世界の天候

#### ① 東シベリアの高温

#### ② 日本から華中の低温・多雨

アンホイ省など華中では大雨による洪水が発生し、400人以上が死亡、約58万人が避難したと報じられた。

#### ③ 南西諸島から中国南部の高温・少雨

チアンシー省など華南では干ばつの被害が伝えられた。

#### ④ モンゴル西部から中央アジアの低温・多雨

#### ⑤ インド北西部からパキスタン南部の多雨

インド、パキスタン、ネパールなどでモンスーンの大雨により、合わせて約750人が死亡したと報じられた。

#### ⑥ ヨーロッパ北部の高温

#### ⑦ ヨーロッパ東部の多雨

#### ⑧ ヨーロッパ南部からアフリカ北西部の高温

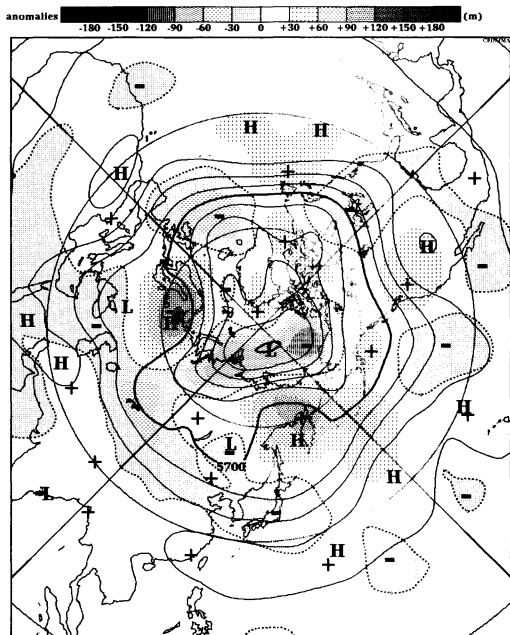
#### ⑨ イランからエジプトの高温

#### ⑩ 北米東部の多雨

#### ⑪ 米国中西部から西部の高温・少雨

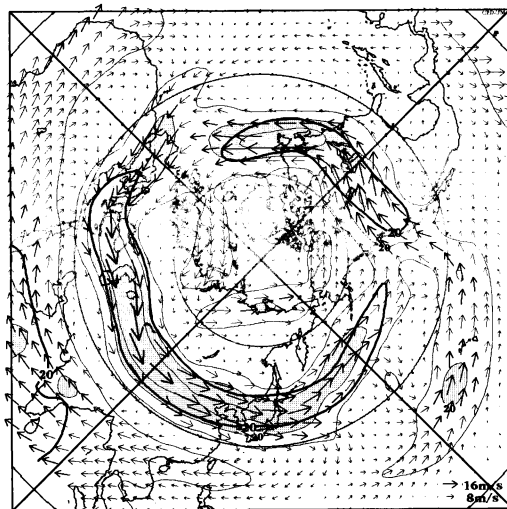
米国中西部や西部を中心に森林火災が多発し、7月末までに約73万ヘクタールが焼失したと伝えられた。

(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 村上喜章)



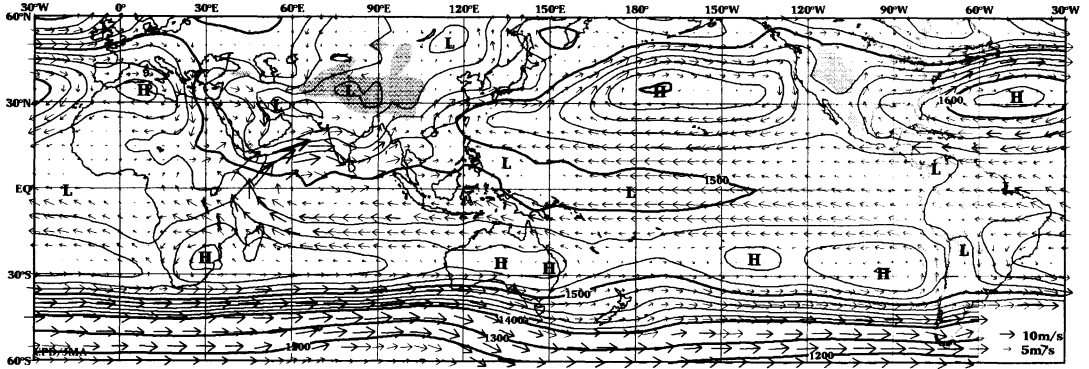
2003年7月の北半球月平均500 hPa 高度および平年偏差

等値線間隔は60 m, 偏差パターン間隔は30 m, 平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。

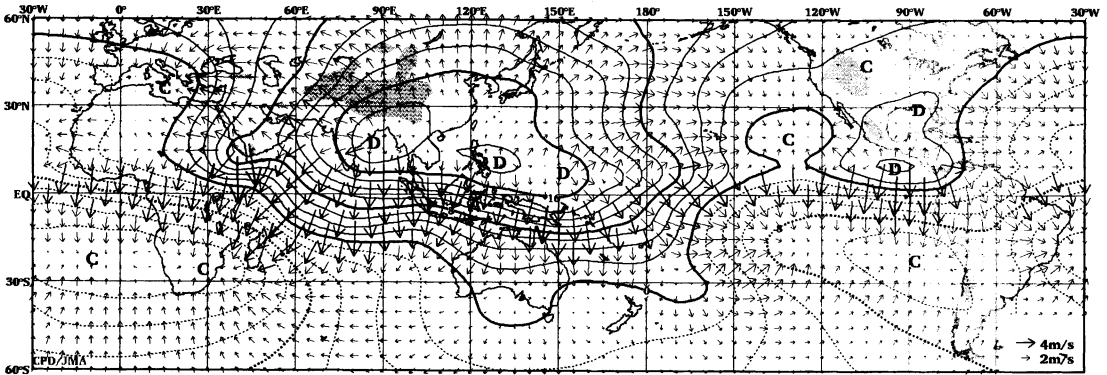


2003年7月の北半球月平均200 hPa 風速および風ベクトル

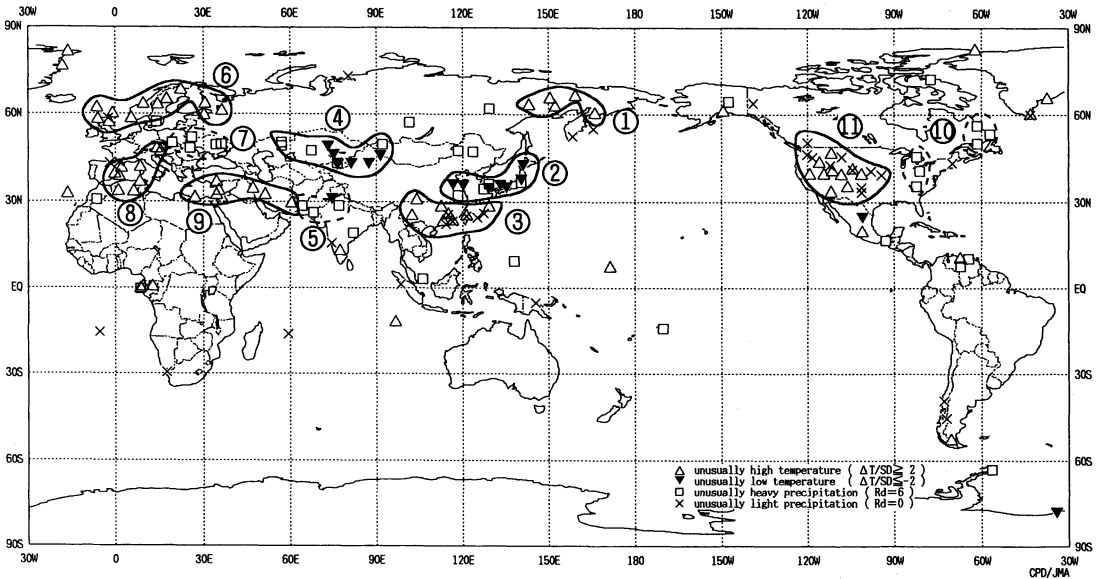
等値線間隔は10 m/s, 陰影部は20 m/s以上, 太実線で囲まれた領域は平年の20 m/s以上の領域を示す。平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。



2003年7月の月平均 850 hPa 高度及び風ベクトル 等値線間隔は 20 m (1400 m までは 100 m)



2003年7月の月平均 200 hPa 速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は  $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



2003年7月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨  
 異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0, 図中の  
 番号は本文中の番号と対応している.